



フィンランドの振付家を招いて先進的な人間形成教育を実践 高校・大学連携ダンスワークショップ開催

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：川原俊明）社会学部は、同キャンパス内にある追手門学院高等学校（大阪府茨木市、校長：原田哲次）と連携し、フィンランドの振付家・ダンサーのカティア・ムストネン（Katja Mustonen）を招聘して、5月9日から3日間の日程でダンスワークショップを開催します。

追手門学院大学社会学部及び追手門学院高等学校では演劇やダンスなどの身体表現活動を活用して、社会で求められるコミュニケーション力、人間力を磨く教育プログラムを展開しており、そのプログラムの一貫として「コンテンポラリーダンス教育法」の修士号を持ち、幅広い指導経験のある講師を招き、「触れる」ということをキーに即興的に物事に対処できる柔軟性を養うワークショップを開催します。

コンテンポラリーダンスは現在、福祉や介護の分野など、社会の中で人との身体的な関わり方やコミュニケーションの回路を豊かにするものとして注目されています。今回のワークショップではそうした関係性を、「触れ合う」という直接的な経験を通して、実感する場にもなります。

高等学校の生徒たちは、今後授業の中で実施される福祉施設での現場実習時の人との接し方などにおいても活かされることが期待されます。

報道関係の皆様には、当ワークショップの様態を取材いただければ幸いです。

1. 名 称 追手門学院大学 社会学部 主催
ダンスワークショップ
2. 取材可能日時 5月11日(木) 15:00-18:10
3. 場 所 追手門学院高等学校 表現演習室
※大阪府茨木市西安威 2-1-15
4. 講 師 カティア・ムストネン (KATJA MUSTONEN)



Photo:Toshie Kusamoto

フィンランドの振付家・ダンサー。フランクフルト（ドイツ）の Hochschule 芸術大学にて「コンテンポラリーダンス教育法」の修士号を取得。世界各地で、中高生からプロのダンサーにわたる幅広い層に向けてダンスのワークショップを開催している。

5. WS 参加者 大学 社会学部生 / 高等学校「表現コミュニケーション」コース生
6. 追手門学院大学・追手門学院高校 コース・プログラム概要

追手門学院高等学校 表現コミュニケーションコース	追手門学院大学 社会学部 コミュニケーション・表現プログラム
演劇やダンスという身体を伴う表現活動を通じて、人間力を高め、人と協働する力、違う価値観をすり合わせ合意形成していく力、答えの無い問いに最善の解を見出していく力を育成し、将来社会のあらゆる場面で人と人をつなぐ人材を育成することを目指したコース。	社会学の専門知識をしっかりと習得しながら、コミュニケーションと表現をテーマに、実技指導や学外実習なども充実させたプログラム。社会への関心や理解、問題解決に向けて考え行動できる構想力、運営力、人間力を磨いていきます。

この資料の配付先：大阪教育記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 足立・谷ノ内